

笑顔あふれる大戸小

大戸小マスコットすぎっぴー



大戸小だより

[URL:http://oto-e@saitama-city.ed.jp/](http://oto-e@saitama-city.ed.jp/)



開校146年 学校教育目標 ○かしこく ○やさしく ○たくましく

平成30年10月31日
学校だより11月号
さいたま市立大戸小学校
831-3796
明治6年開校

秋と言えば読書「読書のすすめ」

校長 浅見 正史

6年生との修学旅行、10月17日（水）7時30分、奥日光の気温は9度、かなり寒く感じる朝のホテル前。日光は紅葉が進み、秋の訪れを感じました。秋と言えば読書、夏から秋にかけて日暮れが早まり、夜が長く感じるので読書をするのには最適な季節と言われています。読書と言えば、近年、ICTの技術革新、スマートフォンなどの登場により人々が本に親しむ機会は減りつつあります。読書を通して自分の考えを深めたり広げたりすることも減少しているのかもしれない。

本校では、10月24日（水）～11月16日（金）まで「大戸小・本の森まつり」を実施しています。この期間では、図書委員による「さいたま市子ども100選プラスの本」の紹介、「のはらうたの会」や図書館司書による読み聞かせ、先生方のおすすめの図書紹介など、楽しく豊かな読書生活への動機づけを行っております。今年度の図書室の貸出数（一人当たり平均）を昨年度の同時期と比較をすると、5月は4.3冊から5.6冊へ、9月は4.4冊から7.0冊へ増加しています。素晴らしい！

また、2年生の国語の授業を参観した時、「わにのおじいさんのたからもの」の物語の登場人物の様子や気持ちを考え、たくさんの質問やその答えを考える授業でした。一人ひとりがしっかり考え発言していました。次は、物語の続きを想像して文章を書く授業だそうです。子どもたちは読書量が増え、思考力も高まり、きっと創造力を膨らました楽しい文章の続きを書くことでしょう。

読書をすることで、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、思考力を高めてほしいと思います。そのために自ら進んで読書をし、読書を通して今後の生活を豊かにしようとする大戸小の子どもたちの育成に取り組んでいきます。

保護者、地域の皆さまが来校し、図書室が開室している際は、図書室へ是非お立ち寄りください。「本の森」が皆さんをお待ちしております。